

第4期教育振興
基本計画(国)

宗像市学校教育アクションプラン

夢や志を持ち、未来を創る宗像の子供の育成

福岡県学校教育
振興プラン(県)

城山学園教育目標

なりたい自分に向かって**挑戦**し、愛される「ふるさと」を地域と共につくる子供の育成

教育課題

重点目標:**挑戦**する楽しさを味わい、**広げる**子供の育成

経営課題

●学び合う教職員集
団づくりの促進

●子供のよさを認め
はげます指導の徹底

●自己肯定感の向上

●不登校等の減少

自立する子供:「なぜかな」「知りたいな」など、知的好奇心を旺盛に働かせ、進んで取り組む子供
挑戦する子供:「～になりたい」「～したい」など、なりたい自分に向けて最後まで粘り強く取り組む子供
関わり合う子供:「それいいね」「一緒～にしよう」など、関わり合う喜びを感じ、高め合う子供

経営の重点:**働きやすさ**と**働きがい**を実感する協働体制の構築

働き
がい

▼多様なチャレンジの発案を可能にする組織運営
▼実践的指導力を高めるための学び合う場の設定



▼効率化、標準化、組織化、明確化の観点
からの協働体制の構築

働き
やす
さ

推進の考え方:「やればできる自分」「やればできる自分達」を
実感させる鍛ほめ福岡メソッドの考え方を踏まえた活動の展開

取組みの基盤:「学級目標」の観点からの価値づけに
よる支持的風土に満ちた学級集団づくり

		自立する子	挑戦する子	関わり合う子	働き方改革	学校評価
指標		○「学校に来ることが楽しい」 90%以上	○「自分にはよいところがある」 85%以上	○「相手への思いやり行動」 90%以上	○月平均45時間以上の時間外 在校等時間の職員の減少	重点目標の達成状況を 把握するための学校評 価(児童アンケート、教 師アンケート)の実施と 取組の見直し
取 組 み	学 園	「城山学園7つの方策」に即した実践の展開と学園事務局会等での進捗状況の共有				危機管理
	学 校	■城山学園スタンダードに基づく学ぶ基盤づくり ■授業UDの考え方を踏まえた授業改善を促進する学園提案授業	■中学生ボランティア活動の受け入れなどによる小中連携事業の促進 ■地域への働きかけを促す「Jチャレンジ学習」の展開と整理	■中学校との合同挨拶運動の実施 ■小学校間の交流を促進する合同宿泊学習の実施	■学園運営協議会名で作成した「城山っ子の約束」の浸透 ■4校Pとの連携による「スマホ我が家のルールづくり」の作成	
		□主に「学びチーム」発案による「分かった」「できた」を実感させる校内研修の促進 □基礎基本の定着を図る赤間っ子検定の計画的な実施	□主に「体チーム」発案による自己肯定感を高めると仕組みの推進・スポコン広場の活用等による1校1取組みの推進	□主に「心チーム」発案による自己存在感を高める取組みの推進・「憧れー憧れられる」関係の構築を目指す異学年交流の推進	□2年生以上の教科担任制の実施 □ICT活用による業務改善 □「業務の効率化」等の観点からの衛生委員会の実施	法令遵守、危機管理等を示した「赤間小のしおり」の全職員への配布と効果的な活用